



津山市 津山さくらまつり ©Tsuayama city

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

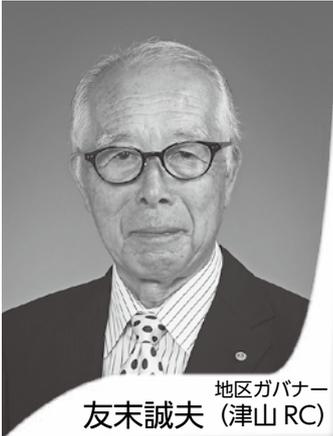
地区ガバナーメッセージ	2
国際協議会の報告	3
ガバナーノミネー研修セミナー（GNTS）報告	4
第10・第11グループ IM開催報告	5
クラブ報告	6-7
出席報告	8

Rotary International District 2690 2022-23

2022-23年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2022-23年度地区ガバナー
友末 誠夫

Vol.10



地区ガバナー
友末誠夫 (津山 RC)

環境月間によせて

学んで知る等の識字教育が封建時代の権力上層社会に存在していた日本は、早くから西洋（欧州）文化の刺激を受け、18世紀末（江戸時代末期～明治初期）には多種多様な知識人を育みました。彼等の知識や知恵は日本の経済発展を牽引し早くから技術教育に目覚め、19世紀後半以後は世界有数の技術国として国際社会に貢献、今日に至っています。日本の技術教育の発端になったのは、18世紀初頭に英国で発明された蒸気機関が、人力や水車に頼っていた欧州の産業生産の動力源に使用されたことで生産効率が上がり、欧州は急激な経済成長（産業革命）で先進国の名声を高めたことです。

その産業革命による経済発展には、当然、少なからず自然界を覆う欧州の広大な樹木地帯を開墾して商工業の用地化が進み、樹木に覆われた自然界の大地は、その面積消失を伴いながら築かれた経済成長の大きな舞台になっていたのです。

産業革命は機械化の到来を巻き起こしますが、それに順応出来ない人達は新天地、米国へ移民が急増しました。当時18世紀後半頃の米国では、西海岸まで鉄道開工事が開始され、一部の区間には列車が走り出していました。その鉄道沿線には、欧州からの入植移民の集落が次々に出現、その後の19世紀に入ると米国に自動車産業が発足し、全米各地を結ぶ道路建設が開始、太平洋戦争終結直後の19世紀中頃からは、さらに主要都市間を結ぶ高速道路（通行料金不要の高速道路＝フリーウェイ）の建設が開始、この高速道路は米国に自動車社会を出現させ、高い経済効果を次々に生み出して米国を夢の国に方向付けました。しかし、その発展の裏側では大地を覆っていた樹木面積は大きく消失、20世紀になると元の面積の半分以上が失われたと云われていますが、鉄道や道路の開通で米国の経済は急激に上昇し、庶民の暮らしを豊かにしたことで、アメリカンドリームが世界にアピールされました。米国の先進性の変貌に誰もが圧倒され、その一方では、大きな自然環境消失に誰も気が付くこと無く、経済の豊かさに包囲されることが当時の米国の人達でした。20世紀の今日に至るまで、樹木の生い茂る自然界を開発した商工業用地の確保は世界中で続き、欧州産業革命の時代から200年の今日に至る経済発展に伴い、地球の大地を覆う樹林帯の総面積は半減し、さらにデジタル通信機器の普及でグローバル化が勢いを増す今日、発展途上国の経済成長が加速し、地球上の緑豊かな大地の面積が消失すると、気象変動が多発し大洪水発生が人々の生活を破壊してしまいます。世界の気象変動の研究者達は、地球の危機を招く兆候だとして「これ以上の自然界の消失は人類の将来を危うくする」と警鐘を鳴らし、国際的組織のネットワークで活動するロータリークラブにも環境保全への取り組みの重要性が求められ、これに素早く反応した国際ロータリーは、活動分野に“環境の保護”を加えたのです。

今日、経済発展を目指す発展途上国は、先進国が行って来た自然界の破壊消失に目もくれずに同様の手段で経済優先を掲げて緑豊かな樹林帯を伐採し商工業集積地の確保を推し進めていますが「これ以上の自然界の樹木消失は人類の将来を窮地に追い込む恐れがある！」この気象変動や環境保全の研究者達の声明を発展途上国に気象変動がもたらす大洪水発生メカニズムとして教示し、それを浸透させる啓蒙活動を今直ぐにでも興すことが重要で、ロータリーの“環境の保護”に取り組むことは極めて重要な急を要す課題です。

近年、洪水の発生が無い地球上のあちこちで突然の大洪水で多くの家屋が押し潰され水没して死者を多く出す気象変動は、「今まで世界の国々が経済力成長の手段として、樹木に覆われた大地を開発して商工業の集積地にし経済向上のために地球上の多くの樹木帯を消失させたことが起因している」と、研究者達は述べています。そして研究者は、その発生メカニズムを次の様に説明しています。「通常は、降雨時に広葉樹の上部の葉から下部の葉に雨の雫が落下する際に多くの雨の粒が上部の木の葉に当たって下方に落ちる過程で小さな粒になって樹林全体を霧状に包んで樹木帯全体が立体的な雨の保留機能を果たしていたのが、樹木帯が伐採され大きな空間が出来ると、気象変動で地上の気温が急上昇し、上空を通過する偏西風や貿易風が高い地上気温を受けて、抵抗の無い樹木消失地域を通過するので、今まで豪雨の無い地域に豪雨をもたらし、大きな災害を引き起こすことになるのだ！」気象変動の研究者達も地球環境保全の研究者達も自然界の樹林帯の保護及び樹林帯面積の消失をこれ以上行わないことを発展途上国側に理解を求めることの重要性を訴えているのです。



地区ガバナーエレクト
石倉貞昭（松江しんじ湖RC）

国際協議会の報告

1月6日（金）まだ正月気分が抜けない中、期待と不安を胸に出雲空港から古瀬パストガバナー、幡次期地区代表幹事、森山ガバナーエレクト事務所事務局長の見送りを受け羽田空港へ。翌日10：55羽田空港からJAL便でテキサス州ダラス空港へ。

ここで米国の入国審査を受け、国内線に乗り換え現地時間13：50にフロリダ州オーランド空港へ、空港からはバスで無事第1日目のホテルに到着しました。尚、日本とオーランドの時差は14時間です。

オーランドは、ディズニーランドやユニバーサルスタジオなどのレジャー施設満載の都市で、米国東部のニューヨークやワシントンの寒い冬を暖かく過ごせるバカンス地として有名だそうです。冬をオーランドで過ごすのは、米国人のステータスとも言われているとか。

そんなバカンスとは関係ない私達一行の2日目は、オーランド市内のステーキ屋さんで、ボリューム満点のハンバーグステーキの昼食を取り、いよいよ国際協議会場のローゼンシングルクリークに到着。オリエンテーションを受け、夕方からは歓迎晩餐会に出席。研修初日を終了しました。

国際協議会の会場となるローゼンシングルクリークは、客室は勿論、大小さまざまな会議室・飲食コーナー・レストラン、外には広大な庭園・バーベキュー会場・プール・ゴルフ場を有し、ここに滞在するだけで各種レジャーが楽しめる施設となっています。特にゴルフ場にはクリーク（沼）があり、ワニも生息しているとか。



国際協議会のスケジュールは、朝食後に午前の本会議、その後分科会、長めの昼食後午後の本会議、そして分科会、夜は各種パーティーという一日です。ちなみに一日の歩数は、約6000歩でした。

3日目となる1月9日は、午前中の本会議でゴードンR・マッキナリー次期RI会長テーマ「世界に希望を生み出そう」が発表されました。RI会長テーマにつきましては、別途ガバナー月信でお伝えするようになりますので、今回は省略させていただきます。また、マイロー

タリーにも掲載されていますので、そちらもご覧ください。

分科会は、14～15人のグループに分かれ、研修リーダー指導のもとディスカッションを重ねる形式で行われ、日本人だけのグループが主でしたが、時々外国人が交わる事があり、この時は同時通訳が付きまします。

8日から12日迄の4日間で延べ7回の本会議、9回の分科会、4回のパーティーを体験して、国際協議会は無事終了。深夜のオーランド空港からダラス経由で帰国の途につきました。

この研修を通じて一番感じたことは、生で直接世界のリーダーの話が聞けた事、世界中の仲間との連携が感じられた事、そして何よりも同期のガバナーエレクトとの絆が深まった事が最大の喜びでありました。





地区ガバナーノミニー
榎原 敬 (岡山南 RC)

ガバナーノミニー研修セミナー(GNTS)報告

2022年11月19日(土)～22日(火)にかけて第51回ロータリー研究会(Rotary Institute)が神戸ポートピアホテルにて開催されました。佐藤芳郎 R I 理事が招集者となり、第2690地区の数多くの皆さまからご支援を賜り、誠にありがとうございました。

GNTS開催に合わせ、全国34地区から33名の地区ガバナーノミニーの参加がありました(第2570地区:埼玉西北の地区ガバナーノミニーは決まっていなかった)。ちなみに女性はわずか4人でしたが、積極性と行動力があり感心いたしました。

11月19日(土)、ロータリー財団地域セミナーが行われ、その後、同期の地区ガバナーノミニー懇親会がありました。ここで初めて同期となる地区ガバナーノミニーの皆さまにお目にかかりました。50代半ばから80代のパスト会長で、現職のクラブ会長の兼務は私だけでした。それぞれが自己紹介を行い、親睦を深めました。

そして、11月20日(日)にはGNTSが開催されました。このコンセプトはリーダーとなるための準備と地区を理解することです。プログラムは、佐藤芳郎 R I 理事の「何をしたいか考える～行動計画とPeople of Action」について、続いて三木明 TRF 管理委員会委員から「アーチ・クランフ氏の『世界で良いことをしよう』～実現可能な目標、ロータリーは前進しなければならない」についてお話がありました。午後からは3グループに分かれ、リーダーとなるための準備と地区を理解することについてのグループ討論が行われました。



ここでの議論はカウンセラーが結論を誘導するのではなく、自らが考えて行動することに重点が置かれていました。また、地区ガバナー就任までの道のり、今後のスケジュール、My Rotary ラーニングセンターの学習について説明がありました。ちなみに地区ガバナー関連29コースを含め日本語コースが91コースあります。地区ガバナーノミニーの中で1人だけすべてのコースを予め聴講された猛者がいて、驚かされました。服部陽子 R I 研修リーダー(第2地域)から、「地区ガバナーノミニーはできるだけ他地区の地区大会に参加して、刺激を受け、アイデアを考えること。そして、地区ガバナーエレクトは実現に向け構想をまとめること」と助言がありました。基調講演で水野功ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーターは、「変化・適応～新たな成長があること。役職は断るな、パストガバナーは始まりである」と話されました。十分な理解のもと、地位と職責を全うするよう指導がありました。時代への適応が必要であり、将来の備えにつながるという考え方を学びました。奉仕活動の参加～広がりを通して、個人の成長を学習の機会になることを実践したいと感じました。

その夜、ジェニファーE・ジョーンズ R I 会長ならびにイアンH・S・ライズリー TRF 管理委員長ご夫妻歓迎晩餐会がありました。こうした R I 幹部の皆さまに日本でお目にかかることは、滅多にない貴重な体験



でした。117年で初めての女性 R I 会長であるジェニファーE・ジョーンズ氏のまわりには人が絶えることがありませんでした。(司会の松本祐二パストガバナー、ご苦労さまでした)。ちなみに R I 会長のパートナーであるニック・クラヤシッチ氏は私たちと同じ地区ガバナーノミニーでした。ここで同期の女性地区ガバナーノミニーがいち早くニックにお願いし、先輩地区ガバナーの皆さまを差し置いて、ジェニファーE・ジョーンズ R I 会長ご夫妻とともに同期地区ガバナーノミニーで撮影したその時の写真です。



2022-23年度 IM実行委員会
中田昌子 (岡山中央 RC)

第10・第11グループ IM開催報告

国際ロータリー第 2690 地区第 10・第 11 グループインターシティミーティングを令和 5 年 1 月 29 日 (日) ホテルグランヴィア岡山にて 527 名の登録を頂き開催いたしました。コロナ禍を経ての 3 年ぶりの対面での開催、そして、会員数の少ない岡山城 RC (21 名) と岡山中央 RC (25 名) での開催となり、プレッシャーが無かったと言えば嘘になります。しかしながら、1 年以上、10 回にわたる綿密な打ち合わせを経て、プレッシャーは責任感に変わり、終わってみれば大きな達成感に変わりました。友末誠夫ガバナー、佐藤芳郎国際ロータリー理事をはじめとするご来賓の皆様、そして、ご参加頂いたすべての皆様のおかげであると心から感謝いたしております。

令和 2 年に始まったコロナ禍、そして、令和 4 年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻、奇しくも二つの歴史的な悲劇の中に身を置いている私達。無力感に苛まれることもありますが、岡山という平和な小さな町に居てもロータリアンとして何か出来ることではないかという思いからすべてはスタートしました。テーマは「岡山から世界へ -今こそロータリーのカー-」と決めました。岡山が誇るもの、人、ロータリーが誇るもの、人、色々な点を線にしていく中で、特別公演は、島谷弘幸先生 (国立文化財機構理事長・九州国立博物館長・岡山県出身) をお願いすることに、シンポジウムは米山記念奨学生と元奨学生、元ロータリー青少年交換派遣学生、元ロータリー財団地区補助金奨学生にご協力頂くことに、そして、懇親会のアトラクションでは「吉備津神社トリビアクイズ ~あなたの知らない「吉備津神社」の世界~」を行うことに決めました。

特別講演の演題は「国立博物館と世界の交流 ~文化芸術に期待する世界平和~」。島谷先生が東京国立博物館副館長でいらした時から現在までに手掛けてこられた国内外での特別展はどれも有名で興味深く壮大なものでしたが、何よりも特別展開催に至るまでのストーリーに感動しました。特別展ともなると国家間の政治や微妙な力関係も作用します。しかし最後は、島谷先生と相手国担当者との個人の信頼関係が大切なのだそうです。国宝級の作品の貸借の基盤も人と人との繋がりでないと知ったことは、個人の力の限界を感じる私達にとっても未来への光となりました。



シンポジウムのテーマは「It's a Small World ~ロータリーが紡ぐ若者の未来と世界の平和~」。該当クラブに所属しているすべての現役米山記念奨学生と、こちらがお願いした元奨学生、元ロータリー青少年交換学生、元ロータリー財団補助金奨学生からは、事前に何度もアンケートに回答頂き、ロータリーへの思い、岡山、そして、世界への思いについてお聞きしました。当日は、8 名の方がシンポジウムにご参加 (うち 3 名がオンライン、お一人はパレスチナからご参加)。シンポジストの国籍や今のお立場は様々ですが「ロータリー」というキーワードで強く繋がっています。印象的だったのは皆さんが口を揃えて「国家間の誤解の大部分は民間交流によって解消できる」と仰っていたことです。懇親会にはシンポジスト以外の奨学生の方もご参加頂いたのですが、皆さんがすぐに打ち解けメールアドレスの交換をなさっている姿を拝見して胸が熱くなりました。皆さんにはポリオの募金活動にもご協力いただき、226,881 円もの募金を集めることが出来ました。彼らがそれぞれの国の未来を担うことは間違いなく、ロータリーが目指す「国際平和の創造と維持に貢献する人」となる彼らをこの岡山で応援出来ていることに誇りを感じた瞬間でもありました。

ご参加頂いた皆様から「楽しかったよ」とお声がけ頂いたことが何よりも嬉しかったです。でも一番楽しませて頂いたのは私達実行委員会とホストクラブメンバーです。IMを通して平和への第一歩である個人を尊重し対話と協力を続けることの大切さを学びました。

2023年 2月

地区だより

新会員紹介



室脇 俊二 森脇 誠 山本 英治 小椋陽一郎 林 美佐 奥田 圭二
出雲南RC 出雲南RC 倉敷南RC 美作RC 岡山RC 玉野RC

ロータリー財団への寄付

<p>メジャー ドナー レベル3</p>	 菊池 捷男 岡山西RC	<p>メジャー ドナー レベル2</p>	 田原 茂穂 新見RC	<p>メジャー ドナー レベル1</p>	 西村 誠 新見RC	<p>大口寄付者 (年次基金)</p>	 末長 範彦 岡山RC		
<p>大口寄付者 (恒久基金)</p>	 菊池 捷男 岡山西RC	<p>ポール・ ハリス・ フェロー (ポリオ プラスへ の寄付)</p>	 吉川 良一 大社RC	 佐野 重治 総社吉備路RC	 向井 厚信 備前RC	 甲矢 了二 備前RC	 岡本富美子 備前RC	 清水 猛 備前RC	
<p>ポール・ ハリス・ フェロー (年次基金へ の寄付)</p>	 荒木 瑞美 大社RC	 福間 邦夫 大社RC	 石田 晴吾 大社RC	 北島 建孝 大社RC	 室家 隆一 大社RC	 長岡 昭洋 大社RC	 中島 孝晃 大社RC	 千家 尊祐 大社RC	 曾田 利広 大社RC
 竹並 一人 大社RC	 田原 茂穂 新見RC	 西村 誠 新見RC	 嵐田 章信 倉敷南RC	 阿部 芳孝 美作RC	 尾高 康弘 美作RC	 則本 孝 美作RC	 峯平 隆弘 美作RC	 小阪田泰彦 美作RC	 稲荷 泰瑛 岡山RC
 岡崎 邦泰 岡山RC	 諸國眞太郎 岡山東RC	 藤川 義章 岡山旭川RC	 塩出 純二 岡山旭川RC	 菊池 捷男 岡山西RC					

クラブポリオプラス

境 港RC	1,110.77ドル
(忘年家族会チャリティーオークション収益金)	
美 作RC	470.00ドル
倉敷南RC	179.40ドル
(ミリオンダラーミール)	

クラブ年次基金

鳥 取RC	323.08ドル (ミリオンダラーミール)
境 港RC	1,538.46ドル(その他 忘年家族会チャリティーオークション収益金)
出 雲RC	615.38ドル (ミリオンダラーミール)
出雲南RC	22.00ドル (新会員寄付)
倉 敷RC	2,338.52ドル (ロータリー財団下期寄付)
岡 山RC	1,309.77ドル (ミリオンダラーミール 新会員寄付)
岡山東RC	1,233.62ドル (ミリオンダラーミール)

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

荒川 雄司 2 米子東RC
 細田 耕治 1 米子東RC
 永島 正道 1 米子東RC

クラブ特別寄付

出雲南RC	10,000円 (新会員寄付)
倉吉東RC	144,000円 (米山ランチ)
倉敷南RC	54,717円 (米山ランチ)
笠岡東RC	22,200円 (米山ランチ)
笠 岡RC	25,872円 (米山ランチ)

クラブ普通寄付

鳥取西RC	140,000円 (下期)	総社吉備路RC	67,500円
倉 吉RC	100,000円 (下期)		

謹んで哀悼の意を表し ご冥福をお祈りします

訃報

山内 瑛明
出雲南RC

ご逝去日/2023年2月20日
享年/83歳
入 会 日/1983年7月7日

舞立 嘉之
米子南RC

ご逝去日/2023年2月18日
享年/77歳
入 会 日/1985年8月26日

出席報告 (2023年2月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	2月 末日	内女性 会員	増減	
第一グループ	智 頭	80.00%	3	5	5	0	0
	倉 吉	83.11%	4	40	39	1	▲1
	倉吉中央	67.65%	4	18	17	2	▲1
	倉吉東	82.18%	4	47	46	5	▲1
	鳥 取	87.83%	2	57	59	3	2
	鳥取中央	76.67%	2	32	30	2	▲2
	鳥取北	72.99%	4	47	48	6	1
	鳥取西	74.23%	3	56	55	2	▲1
小計(8)	—	—	302	299	21	▲3	
第二グループ	境 港	62.16%	3	43	43	1	0
	米 子	57.64%	3	67	69	5	2
	米子中央	80.80%	3	40	43	1	3
	米子東	57.35%	2	105	109	13	4
	米子南	65.50%	4	70	69	5	▲1
	小計(5)	—	—	325	333	25	8
第三グループ	松 江	85.64%	3	63	65	1	2
	衛星クラブ	50.00%	2	10	10	5	0
	松江東	82.96%	3	46	45	4	▲1
	松江南	82.64%	2	63	65	6	2
	松江しんじ湖	75.56%	3	44	47	11	3
	隠岐西郷	72.92%	4	21	24	2	3
小計(5)	—	—	247	256	29	9	
第四グループ	平 田	85.44%	3	34	37	2	3
	出 雲	76.60%	2	49	48	1	▲1
	出雲中央	80.43%	3	46	48	3	2
	出雲南	77.36%	3	78	84	7	6
	大 社	63.10%	2	50	50	4	0
	小計(5)	—	—	257	267	17	10
第五グループ	江 津	65.82%	4	38	41	2	3
	浜 田	73.28%	2	53	58	3	5
	益 田	57.89%	1	18	19	2	1
	益田西	74.73%	3	28	31	2	3
	大 田	76.00%	3	25	25	3	0
	小計(5)	—	—	162	174	12	12
第六グループ	井 原	72.79%	4	42	40	1	▲2
	笠 岡	83.96%	4	46	49	4	3
	笠岡東	85.53%	4	40	40	0	0
	新 見	69.57%	2	21	24	3	3
	総 社	78.57%	3	16	15	2	▲1
	総社吉備路	77.78%	4	25	27	1	2
	高 梁	78.38%	3	36	37	1	1
	玉 島	78.82%	4	29	27	4	▲2
小計(8)	—	—	255	259	16	4	

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	2月 末日	内女性 会員	増減	
第七グループ	児 島	72.50%	2	21	20	0	▲1
	児島東	96.97%	3	11	11	0	0
	倉 敷	83.92%	3	73	75	1	2
	倉敷中央	80.77%	2	15	16	5	1
	倉敷東	90.24%	3	34	32	3	▲2
	倉敷南	64.81%	3	58	63	3	5
	倉敷水島	77.42%	2	20	19	0	▲1
	倉敷瀬戸内	43.06%	2	38	37	1	▲1
小計(8)	—	—	270	273	13	3	
第八グループ	真 庭	87.78%	3	31	30	1	▲1
	美 作	83.33%	3	26	27	2	1
	津 山	71.69%	4	100	99	5	▲1
	津山中央	88.24%	3	13	12	3	▲1
	津山西	83.70%	3	35	34	4	▲1
	小計(5)	—	—	205	202	15	▲3
第九グループ	備 前	75.16%	4	41	42	5	1
	岡 山	79.82%	4	114	118	6	4
	岡山東	86.99%	3	94	96	0	2
	岡山北西	77.98%	4	40	42	2	2
	岡山後楽園	67.97%	3	51	51	0	0
	小計(5)	—	—	340	349	13	9
第十グループ	岡山旭川	54.73%	4	34	37	1	3
	岡山中央	65.33%	3	26	25	5	▲1
	岡山北	65.33%	3	50	50	4	0
	岡山南	67.72%	4	160	156	20	▲4
	玉 野	69.23%	4	27	26	0	▲1
	小計(5)	—	—	297	294	30	▲3
第十一グループ	岡山備南	81.54%	4	21	20	1	▲1
	岡山城	80.70%	3	20	21	0	1
	岡山岡南	74.24%	3	19	24	2	5
	岡山丸の内	64.00%	4	48	51	3	3
	岡山西	72.59%	4	68	70	7	2
	岡山西南	77.08%	4	50	50	7	0
小計(6)	—	—	226	236	20	10	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2022年7月1日会員数	2886名
2023年2月末日会員数	2942名
内 女性会員数	211名
純増	56名
2023年2月出席率(ホームクラブ)	75.02%

